



No. **61**

発行者 沼津市商工会
 会長 大村保二
 〈本所・原支所〉沼津市原1200番地の1
 TEL(055)966-1331 FAX (055)967-4925
 〈戸田支所〉沼津市戸田1028番地の5
 TEL(0558)94-2224 FAX (0558)94-4029
 編集 沼津市商工会広報委員会



水揚げされたばかりタカアシガニ(戸田港)

白隠禅師の里

松蔭寺

住職 宮本 圓明

現在、日本の臨濟禅の宗旨を教示する「師家」と言われる老師様方は皆全員が白隠禅師の法孫になられます。

つまり白隠禅師のお里の原は日本臨濟禅のふる里であるということになります。

さて先頃、東京渋谷の東急Bunkamuraで白隠展が開催されました。大変な人気を博し僅か二ヶ月で七万八千人もの方々が来場されたそうです。それも客層は老若男女いろいろな人がご覧になったそうです。松蔭寺も二点出品しましたが、白隠様の菩提寺としても喜ばしい限りでありました。

主催はBunkamuraでありましたが後援の妙心寺様花園大学国際禅学研究所並び臨濟会の強力な後押しがあったのでしよう。今まで一度も出展されたことが無かった作品も多く出品されていて、もう二度と拝見できないと思いき、私は前後四回出かけて行きました。

今回の展覧会に私としては些か疑問が残るところがありました。それは如何なる展覧

会においても有りうることで、展覧会の主催者の主旨と作品を観る個々人の作品や作者に対する探究の深淺から生ずることでありますが、今般の白隠展はその大作に圧倒されるばかりで本来仏道者である白隠禅師の根源から生ずる慈悲心の表現がうすれていたところでありました。余りにも厳しく激しい書画も慈悲心よりの発露であります。

何れにしても書画を通して白隠禅師の認知が世間に広がりを見せ、白隠禅師の里を一度訪ねてみたいと思う人が多くなっていることは事実であります。白隠禅師の弟子たちが毎日のように托鉢に行っても嫌がらず物乞いを受け入れてくださった思いやりある原宿の人達の心は、現在の原町の人々にも受け継がれています。

白隠禅師の真の教えをより多くの方々に広めたいものです。



親子で修行僧体験(托鉢中)

お茶のPRビデオ完成

お茶資源活用部会では、このたびお茶の販路拡大の目的で、PRビデオを二種類作成しました。一つは『Japanese Green Tea Fujisan』。外国人に対し、地元茶を紹介する内容です。もう一つは『お茶の葉料理』。飲むだけでなく、新鮮なお茶の葉を料理に使用してもらうことが目的です。

これらは、商工会のホームページに掲載するほか、イベントや出展等で地元茶を紹介するツールとして、今後利用していく計画です。



お茶の葉PRビデオ

ぬまづ茶ご飯

今春も「桃中軒」は、お茶資源活用部会で開発した冷凍

茶葉を利用して、ぬまづ茶ご飯を商品化しました。お茶ご飯を入れたお弁当「静岡風便り 春ごろも」を現在販売しています。沼津のお茶以外に大中寺いも、あしたか牛など地元特産品を中心にした料理です。季節限定ですので、この時期を逃さずにご賞味下さい。

その他、「キノフーズ」のお茶の葉入りお好み焼きと焼きそば、「松新」のお茶の葉入り蒸し餃子(茶つつみ)など、新しいお茶の葉料理が誕生しつつあります。



ぬまづ茶ご飯

実に実のある研修

お茶資源活用部会の茶の実油活用メンバー四名で過日、茨城県猿島郡境町にある(株)野口徳太郎商店を視察しました。同社は明治七年創業の製茶

部会長 清水賢嗣

加工販売の老舗で、現社長の野口富太郎氏は五代目の四十三歳。早くから茶の実の可能性に注目し、茶の種子を混ぜた粉末茶や茶の実を絞った美容オイルなどを開発・販売しています。なお、茶の実は耕作放棄された茶畑や敷地内に植えたお茶の実収穫専用の茶畑から収穫しているそうです。

原発事故の影響により、この地を産地とする猿島(さしま)茶も出荷自粛の憂き目に遭いましたが、ならば日本茶の新しい味わい方を紹介し茶文化の発信基地にしようと、築百年の木造店舗兼住宅を改修し、昨年九月に日本茶カフェとしてオープン。スイーツ三品とお茶四品のコースを始め、緑茶ソースの Pasta や茶鍋などのメニューも各種用意されています。

その他、LEDを利用した農薬&放射能フリーの茶樹溶液栽培の実験を行うなど、想像力と実行力を備えた若い野口社長の頑張りにより、大いに触発された研修となりました。

戸田の旬の味覚を是非!

戸田の港ではトロール船から、毎日新鮮な魚介類が水揚げされています!

タカアシガニや手長エビはもちろん、今の時期はトロボツチ(メヒカリ)やメギス、ゲホウなど、他の地域の人達にとってはあまり耳にしないような深海魚が水揚げされています。深海魚は、見た目は少し怖い形相をしているものもありますが、刺身や煮魚、唐揚げにして、とても美味しくていただくことができます。戸田の飲食店では、これらの深海魚料理を提供していますので、是非一度お試しを!



新鮮な手長エビ



静岡銀行 原町支店

SHIZUOKA BANK 〒410-0312 沼津市原195番地の8
TEL(055)966-1010 FAX(055)966-8309



沼津信用金庫 原支店

沼津市原町中3-13-23 TEL(055)967-6567
ホームページ・アドレス http://www.numashin.co.jp/



ローンの御相談はさんしんへ

三島信用金庫 原町支店

〒410-0312 沼津市原195番地の6 TEL(055)966-1511



あんしん for you みなさまの暮らしに、安心と信頼をお届けします。

JAなんしん 原支店

〒410-0312 沼津市原349-3
TEL(055)966-0600 FAX(055)966-0722

ヘダ号絆プロジェクト
 戸田地区観光資源の
 データベース化について

幕末の歴史ドラマは人気が高
 高くNHKドラマ「八重の桜」
 でも黒船来航により揺れた
 日本を描いています。この時
 代、片田舎の戸田で後の日本
 の造船発展に大きな影響を与
 える「ヘダ号建造」が粛々と
 実施されていきました。

驚くべきは、鎖国中の江戸
 時代にロシア軍艦ディアナ号
 のプチャーチン提督以下五百
 人の外国人を仮設住宅で受入
 れて友好的に対応したこと、
 和船作りの船大工が言葉の壁
 を越え、ロシア人との協働で



データベース作り風景

洋式帆船「ヘダ号」を設計を
 含めてたったの百日強で建造
 したことです。当時安政の大
 地震による被害で戸田でも五
 十人ほどの死者が出た災害直
 後、幕府の命とはいえ、凄
 ことが出来たものです。

ヘダ号建造は、洋式船の技
 術習得を求める日本と和親条
 約、通商条約の締結を求める
 ロシアとの利益供与を元に実
 施されましたが、戸田の廻船
 問屋の財力と船大工の技量、
 住民の本国に帰してあげたい
 という人間愛で実現した日露
 友好の輝かしい史実です。

しかし、今やこの史実を知
 る人が少なくなっています。
 こうしたことから、素晴らし
 い地域の歴史と文化遺産を世
 界中の人に知って頂こうと、
 沼津市商工会戸田支所と戸田
 観光協会、戸田どっとこむの
 三団体が実行委員会を設立し、
 二十三年度から文化庁に、情
 報発信・人材育成事業と文化
 財（松城家住宅）の継承事業、
 記録作成事業等が採択されま
 した。

昨年度から地域の語り部の
 育成を順次行い、観光客が滞



文中で紹介の「電子総合地図台帳」は
 4月に公開予定(<http://www.heda.jp/>)

在時間を増やし、戸田を楽し
 んで頂く為にプチャーチンロ
 ードという回遊路（歴史散歩
 道）づくりを行っています。
 また、地域初の取り組みとし
 て、沼津、戸田をよく解って
 もらうために「地域の文化遺
 産・景観資源・観光資源情報
 を網羅した電子総合地図台帳」
 を掲載したインターネットサ
 イトの製作に取り組んでいま
 す。地域資源、景観資源、商
 業施設を入力し地域文化遺産
 と連携した観光情報としてイ
 ンターネットで公開。現実的
 な活用に繋げようと挑戦して
 います。

ヘダ号絆プロジェクト
 実行委員会 会長 監物知利子

戸田の冬の風物詩
 磯海苔かき

今年も冬の戸田御浜岬では
 海苔かきが行われました。
 水産資源保護のため、冬場
 に数回と日時は限られていま
 すが、老若男女約五十名が気
 温八℃の冬空の下、手に持つ
 た「かい」と呼ばれるブリキ
 製の道具で岩に張り付いた黒
 い海苔をかき取っていました。
 かき取った海苔は細かく刻
 み、水に溶かした状態で菰の
 上で形を整え、天日干しをす
 ることで水を切り、お馴染み
 の板状の形に成形されます。
 今年は海苔の生育に必要な
 雨・風・気温といった条件に
 条件に恵まれ、例年に比べて
 豊漁とのことでした。



富士を眺めながら海苔かき

海のぼる いさば
 西伊豆/へだおんせん
 ■ 旬日海産物誌 ■
 〒410-3402
 沼津市戸田美浜海岸3878-20
 TEL 0558-94-3048(代)
 URL <http://www.isaba.co.jp>

食中毒予防の決め手はあなたの手
沼津食品衛生協会 戸田支部
 支部長 真野雄二
 事務局 沼津市商工会 戸田支所
 0558-94-2224
 企業の繁栄と社会貢献
沼津法人会 戸田支部
 支部長 中島寿之

創業明治参年 味わいの宿
ときわや
 高足ガニとエビカニづくしの磯料理
 TEL 0558-94-3333
 フリーダイヤル TEL 0120-04-1260
 ホームページ <http://tokiwaya.info>

白隠さくら祭イベント

日時 4月7日(日) 10:00~16:00

会場 原地区センター広場

イベント ◎ステージイベント(婦人会舞踊団、白隠太鼓、白隠神輿会等)
◎模擬店(白隠青年部、原地区特産品、戸田地区特産品等)

白隠さくら祭

春の恒例となつてゐる白隠さくら祭が、四月六日(土)〜四月八日(月)に行われまゝ。松蔭寺で宝物が展示され、沼川沿いの桜並木では露店が並びます。七日(日)には長興寺主催のこんぴら稚児行列が行われるほか、原地区センター広場で、白隠太鼓をはじめとするステージイベント、様々な模擬店、白隠神輿などが祭りを盛り上げます。JR東海さわやかウォーキング(沼津駅〜さくら祭会場)も同時開催されます。

正副会長が市長と面談

本商工会の懸案事項などを報告し、市の支援をお願いするため、二月二十七日、大村会長、川合、清水両副会長が、栗原市長を訪ね面談しました。原浮島地区には、新東名の開通とSAの開業、そして、スマートインターの整備計画など、大きなプロジェクトがあり、これを今後の地域振興に活かしていかなければなりません。そこで、地元経済団体として、この地域の夢のある未来を描く「グランドデザイン」を策定したと考えており、市に支援をお願いしました。また、戸田地区の観光が非常に厳しい状況にあり、緊急の対策が必要であると要請するとともに、課題や具体的対応策について、意見交換を行いました。また、昨春秋に発行された、戸田を舞台に描かれた小説「つるし雛の港」(中尾ちちこ著)も話題となり、映画化など戸田のPRに活かせないかという意見も出ました。今後、市長とごさくばらんに懇談する機会が欠かせないと再確認する機会となりました。

原駅前地区のまちづくり

土地の乱開発防止と良質な土地供給を目的に昭和五十六年に原町中土地区画整理事業が認可され、それに伴い原駅前地区道路整備(十六メートル)の拡幅が事業計画され現在に至っています。その間に平成十二年から十年間の密集住宅市街地総合整備事業が実施されました。平成十四年に会長となった折、四半世紀を過ぎても何ら進展していないことから、地権者の同意を得て県・市に陳情と要望を繰り返し、漸く調査費や事業費が付き、目に見える事業となりました。市道と県道(駅通り)があり、その中に原駅前広場の整備(JR部分)等があったので進み具合は遅々としたものでした。地域とJR利用者の為に土地を提供してくれる地権者・住民の苦渋の選択を私たちは忘れてはならないと思います。今後は下水道整備、電線の地中化、原駅を橋上駅に(自由通路)することを目指していきたいと思つています。原駅前地区まちづくり協議会 会長 庄司一洋

環境大臣表彰を受賞

このたび、西町一区老人クラブ喜楽会が、永年の環境美化活動に対して、環境大臣より表彰を受けました。

喜楽会は亡き父母の時代、昭和三十七年の設立以後、今日まで、神社境内、沼川堤、海岸等の草刈りや清掃に尽力し、静岡県環境衛生推進協会連合会表彰、静岡県知事表彰、社団法人全国地区衛生組織連合会表彰を重ね、今回の受賞につながりました。先人の取り組みに感謝しながら、日々活動をしています。この受賞は全国でも八団体のみで、県下では喜楽会と浜松市の村櫛長寿クラブだけです。



今回の受賞は、沼津市、静岡県の誇りでもあり、皆さんと共に喜びたいと思つています。

4月の行事予定

4月 1日 職員辞令交付
4月19日 部会総会

原支所

4月 6日~8日 白隠さくら祭
4月15日 夏まつり第2回合同会議
4月22日 女性部総会

戸田支所

4月 6日 夜桜まつり
4月24日 青年部総会

平成25年度 沼津市商工会 通常総代会

5月24日(金)に
ニューウェルサンピア沼津
で行います。



社団法人 沼津法人会 原支部

めざます企業の繁栄
と社会への貢献